

第十八卷第五號

通刊第八十三號

物理化学の進歩

編輯主幹 堀場 信吉 (京都) 鮫島實三郎 (東京)

昭和十九年九月

目 次

原 報

- アセチレンに對する超高周波暈光放電に就いて井 街 仁... 133
- 脂肪油に對する超高周波暈光放電に就いて (第1報).....井 街 仁... 139
- 銅觸媒の物理化学的研究 (第3報) 酸化銅上に於ける水素と酸
素との反應長谷川 繁夫... 145

紹 介

- 金属アルキル化合物の熱分解岡 欣 彌... 93

日本物理化学研究会刊行

京都帝國大學理學部物理化学研究室内

日本物理化学研究会規則摘要

(主として會誌に關するもの)

- 第二條** 本會ハ物理化学ニ關スル學術的研究ヲ獎勵シ其ノ發達ヲ圖リ將來吾國ニ於ケル獨創的化學工業ノ樹立助成ヲ以テ目的トス
- 第三條** 本會ハ前條ノ目的達成ノ爲左ノ事業ヲ行フ (中略) 三. 會誌「物理化学の進歩」及ヒソノ歐文號ノ刊行
- 第五條** 會員ハ物理化学ノ研究ニ從事スルモノ又ハソノ進歩發達ニ關心ヲ有スル個人又ハ團體トス
- 細則第一條** 會誌「物理化学の進歩」ハ左記内容ヲ有スルモノトス 一. 原報又ハ論說 二. 紹介又ハ講義 三. 抄録 四. 記事其ノ他
- 細則第二條** 原報トシテ掲載スル研究論文ハ物理化学ニ關スルモノニシテ本會商議員又ハ大學教授ノ研究或ハソノ責任アル紹介ニヨルモノタルコトヲ要ス
- 細則第三條** 會誌「物理化学の進歩」ハ會員ニ配布シ且ツ物理化学知識普及ノ目的ヲ以テ之ヲ發賣ス
- 細則第六條** 會費ハ一ケ年金五圓トス 但シ本會費ハ會誌「物理化学の進歩」刊行費ニ充ツルモノトス
- 細則第八條** 終身會費(個人)ハ金五拾圓トス 但シ既納ノ會費ヲ包含セス

昭和19年9月25日印刷	物理化学の進歩	本誌頒價一部 1圓10銭 (1圓 特別行爲税別當額 10銭)
昭和19年9月30日發行	第18卷 第5輯 (年6回刊行)	送料 12銭
監製發行者	堀場 信吉 京都帝國大學物理化学研究室	發行所 (入會申込所) 日本物理化学研究会 振替・東京 5047番 京都市會田 京都帝國大學理學院物理化学研究室内 (日本出版會員 No. 22005)
編 者	福井松之助 京都府中京區御馬場三條南	配 給 元 日本出版配給株式會社 東京府墨田區江戶橋町二ノ一
印 刷 所	(京都20) 株式會社 似玉堂 京都府中京區御馬場三條南	販 賣 所 岩 波 書 店 東京府墨田區一ツ橋二ノ三 丸善株式會社京都支店 京都府中京區河原町通總本町

THE REVIEW OF PHYSICAL CHEMISTRY OF JAPAN

Edited by

Prof. S. Horiba, (Kyoto) and Prof. J. Sameshima, (Tokyo).

Vol. XVIII, No. 5

Sept., 1944

Contents

Originals

- J. Imati: The Effect of Super High Frequency Glow Discharge on Acetylene Gas. 133
- J. Imati: The Effect of Super High Frequency Glow Discharge on Fatty Oil. (I) 139
- S. Hasegawa: Physico-Chemical Studies on Copper Catalyst. (III). The Reaction between Hydrogen and Oxygen on the Surface of Copper Oxide. 145

Reviews

- K. Sono: Thermal Decomposition of Metallalkyl Compounds. 93

Published by

The Physico-Chemical Society of Japan

會 費 領 收

自昭和十九年九月一日 至昭和十九年十一月十日 (尊稱略, 金額略, 來着順)

普 通 會 費

潘 貫	和 田 英 一	大日本航空技術協會	關西學院理工科	佐 藤 義 信
松 浦 良 平	清 原 平	高 橋 敏 夫	田邊製藥株式會社	松 島 祥 夫
東洋化工株式會社	江 戶 川 工 業 所	三井化學工業日黑研究所		陸軍軍醫學校
原 田 梧 樓	日 本 蒸 溜 工 業 株 式 會 社	宇 部 油 化 工 業 株 式 會 社		北 川 徹 三
松 浦 亮	松 浦 新 之 助	岡 本 剛	今 井 和 男	渡 邊 成 人
平 野 泰 夫	李 升 基	谷 上 國 雄	松 本 壽 郎	織 田 健 一
藤 瀨 精 一	彌 宜 田 久 男	定 豐 治	濱 崎 幸 吉	壽 精 工 株 式 會 社
谷 口 五 十 二	堀 内 吉 彦	林 右 市	加 納 安 久	東 洋 紡 績 株 式 會 社 研 究 所
有 田 秀 男	東 洋 高 壓 工 業 株 式 會 社		照 井 秋 生	柳 郷 和 眞
山 本 有 一	協 和 書 苑	關 集 三	垣 内 弘	川 村 雅 男
イロヤ書店	丸 澤 常 哉	浦 範 雄	横 山 義 男	八 塚 卓 三
宮 本 拓 夫	金 子 會 政	平 島 達 司	林 喜 世 茂	松 本 昌 一
吉 田 武 子	若 澤 長 節	黒 岩 和 夫	三 島 明	日 本 ビ ッ チ コ ー ク ス 會 社
栗 田 林 治	根 岸 良 二	飯 島 俊 一 郎	杉 野 榮 二	下 村 泰 彦
角 田 健 一 郎	ライオン油脂株式會社		杉 山 忠 太 郎	村 井 秀 雄
美 坂 哲 男	坂 野 武	高 砂 昌 三	武 田 化 學 藥 品 株 式 會 社	
勝 田 正 男	(以上十九年度)			
定 豐 治	早 川 晃 雄	八 屋 泰	鳥 湯 博 敏	陣 舜 翹
松 浦 亮	(以上二十年度)			
定 豐 治	(以上二十一年度)			

昭和十九年九月一日——十九年十一月十日迄 新 入 會 員

普 通 會 員

大 夔 茂	岡山縣邑久郡行幸村福岡	入替中
奥 田 浩 三	京都市左京區岡崎東天王町98	
上 野 知 徳	神戸市兵庫區上澤通8ノ88	
宮 田 一	京都市左京區吉田牛宮町21	京都帝大醫學部藥學科
安 田 弘	新居濱市金子前田町住友敬天寮	
寺 尾 一 之	名古屋中昭和區長池町2ノ36	住友金屬名古屋輕合金製作所
網 原 匡 一	東京都小石川區林町70清林莊	東京都小石川區大塚窪町 東京文理科大學化學科
志 村 博	新居濱市津津學海寮高知高校隊	
栗 田 林 治	兵庫縣伊丹市梅ノ木町1ノ33	
津 田 野 勇	東京都日黒區柿の木坂163	
井 手 正 六	千葉縣市川市菅野68	
守 谷 一 郎	東京都北多摩郡三鷹町井口348	東京都下府中町 陸軍燃料廠技術研究所

山口安次郎	東京都世田谷區若林町248	神奈川縣大船町荻 大船輕合金株式會社
武田化學工業藥品株式會社	尼崎市高田宇川田所10	
石田哲三郎	東京都淺草區三筋町1ノ21	東京都大岡山 東京工業大學應用化學科
小川景太郎	東京都瀧野川區上中里町352	東京都豐島區駒込町 同仁製藥株式會社
小林正光	舞鶴市餘部海軍機關學校	同
森太郎		京城府番大方町106 株式會社本嘉納商店京城工場
大和達實		福岡縣久留米市京町 日本タイヤ株式會社合成ゴム工場内
高砂昌之	大連市伏見町滿鐵中央試驗所	
ライオン油脂株式會社	東京都江戸川區平井三丁目	
中島、享	福岡縣藤崎町2ノ84 住宅營團六組中村方	
島湯博敏	平塚市桃濱町3429ノ3	海軍技術研究所 相模海軍工廠化學實驗部
三洋油脂株式會社愛知工場	名古屋市西區堀越町	
仁川陸軍造兵廠作業課	仁川府白馬町1	
大津武通	兵庫縣武庫郡鳴尾村鳴尾字中津住友通志寮	住友金屬工業株式會社
山上哲男	青森市外筒井村東部第93部隊	東京都品川區南品川6丁目 三菱化成工業株式會社研究所
國松巖	鞍山市北四條町錦廬寮	
小杉喜久雄	東京都中野區宮園通5ノ5	廣榮株式會社
吉永元一	横濱市南區中里町302松本方	横濱市南區放戸町100 日本揮發油株式會社研究所
伊奈修一郎	愛知縣渥美郡田原町池ノ原	愛知縣渥美郡田原町波瀾 日本曹達株式會社田原工場研究室
祖父江正允	名古屋市昭和川名山町67	名古屋市北區西志賀町 軍需省東京工業試驗所名古屋支所
大竹壽一	横濱市鶴見區鶴見町386	
金山信喜	富山市西中野町267	富山市下奥井8番地 富山化學工業株式會社研究所
杉山忠太郎	市川市中山536 豊田瀨	
酒井正美	東京都杉並區阿佐ヶ谷3ノ494	日立製作所
関野壽一	東京都北多摩郡小金井町小金井	東京都立川市 第八陸軍航空技術研究所
横井清浩	大阪府堺市七道西町 大日本セルロイド株式會社	大日本セルロイド株式會社
及川浩	東京都杉並區成宗2ノ882	
三村圭三郎	東京都向島區吾嬬町東1ノ1 大日本油脂株式會社	大日本油脂株式會社
都田正	八幡市大字熊手字曲ノ榮北寮	八幡市藤田 三菱化成工業黑崎工場
大三輪長久	東京都牛込區余丁町101	東京帝國大學第一工學部
岡田晋	長野縣北安曇郡大町1124	長野縣北安曇郡大町新田町 昭和電工株式會社大町工場
麻和正一	長野縣北安曇郡大町南原町	同
山本昇	長野縣北安曇郡大町仁科町	同
沓掛一十	長野縣北安曇郡大町高見町	同
渡邊吉郎	東京都澁谷區幡ヶ谷本町	藤原工業大學應用化學科
小森護正	東京都淀橋區角管3ノ144	同
林隆之	岩國海軍兵學校化學教官室	
守道昌也	西ノ宮市門戸垣ノ内224 門戸寮	
猪股謙次郎	東京都大森區入新井町京濱莊内	
鞭政共	仙臺市袋町1番地 東北帝國大學理學部岩石	
鈴木善雄	朝鮮咸鏡南道興南邑雲城里大和寮	
加藤貞武	京都市左京區吉田神樂岡町	京都帝國大學醫學部藥學科
長谷春雄	横濱市南區蒔田町東谷950	横濱工業專門學校電氣化學科

財團 日本化学研究会編纂
法人

主幹 理学博士 眞島利行

月刊

日本化学総覧

規格 B5 版・八ポイント横組・毎號 70 頁内外

日本化学総覧は我が國に於て發表せる理・工・醫・薬・農の諸學術方面に互る雑誌・報告書・特許公報等約 600 種の前報より化学關係の業績は總て迅速に要點を抄録報導す。一讀よく本邦化学關係研究の報告及特許等の内容を容易且つ最も經濟的に知悉し得べく、研究家、實際家並に發明家の研究工夫に裨益する處尠からざるべし。毎卷完全なる「著者名及事物索引」を附す、本總覧の活用上必要缺くべからざるものにして、蓋し本誌の一太特色とす。

内容見本進呈

會員 月刊雑誌「日本化学総覧」は本會會員に配布す。入會御希望の方は半々年分以略規上の會費を添へて直接本會に申込まれたし。

通常會員の會費→年分(前納の上2回に分納可)次の如し(索引配布)11円

待望の 日本化学総覧 完備す

第一集 第壹卷—第七卷 (7冊) 明治10年より大正15年まで50年間本邦に於て研究發表せる化学及關係學術の文獻及び發明者苦心の成果たる特許(特許番號 No. 1 より集録)の内容を抜萃して集載せるものなり

第二集 第壹卷—第十五卷 (15冊) 昭和元年以後の文獻を抄録集載す。昭和2年以來毎月發行せる總覧を分冊したるものなり

定價各冊 ¥ 12.50 送料 ¥ 7.0

財團 日本化学研究会 仙臺市東三番町一八七
法人 坂野仙臺8158・電話仙臺4461

主幹 工学博士 喜多源逸

月刊 化学評論 一冊 78 錢(外=送料 6 錢)

前金一年 10 圓 08 錢(送料共)

第 10 卷 第 2 號

- | | | | |
|-------|------------------------------------|------|-------|
| [367] | ウロン酸の化学 | 理学士 | 町田 誠之 |
| [368] | 天然樹脂(IV) | 理学博士 | 日月 紋次 |
| [369] | ヴィニルケトン-アルデヒドの低重合に關する K. Alder の研究 | 工学士 | 由良 章三 |

第 10 卷 第 3/4 號

- | | | | |
|-------|------------------|------|----------------|
| [370] | 物理有機化学(I) | 工学士 | 小方 芳郎 |
| [371] | 天然樹脂(V) | 理学博士 | 日月 紋次 |
| [372] | 分解カッソリンに於けるガムに就て | 工学士 | 舟 阪 渡
中日伊四彦 |

第 10 卷 第 5/6 號

- | | | | |
|-------|--------------------------------|------|-----------------|
| [373] | ヴィニル樹脂に就て(I) | 工学博士 | 山田 正盛 |
| [374] | 石鹼の龜裂に就て | | 米勢 千鶴男(譯) |
| [375] | 物理有機化学(II) | 工学士 | 小方 芳郎(譯) |
| [376] | デヴィニルアセチレンの工業的利用法 | 工学士 | 福田 正作 |
| [377] | α-オレフィンの一合成法 | 工学博士 | 古川 淳二 |
| [378] | アニリンとホルムアルデヒドとの縮合反應及其の可塑物生成に就て | 工学士 | 上田 卯三郎
千 田 整 |

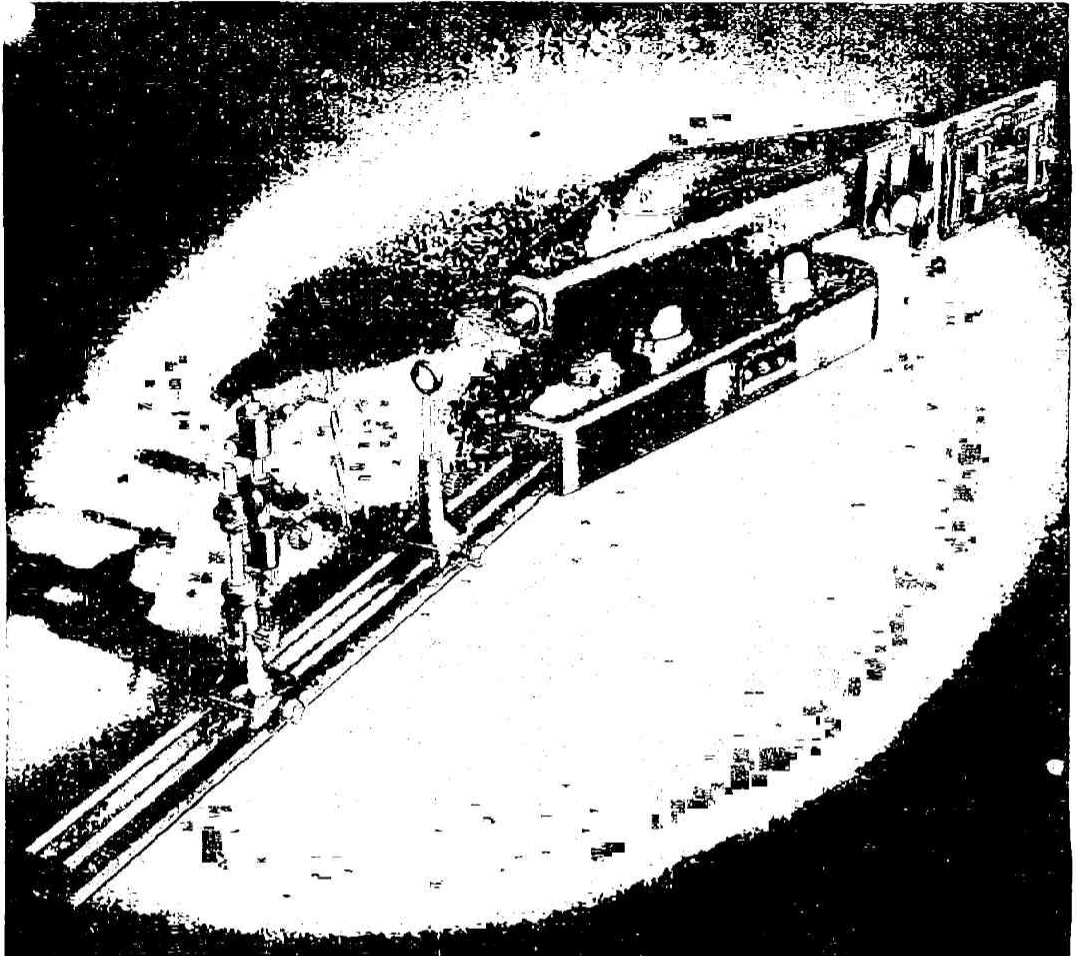
化学評論社

編輯所

京都市吉田 京都帝國大學
工業化学教室 喜多研究室
電話上九八〇番(學内十九番)

發行所

大阪府泉北郡高石町羽衣五八
電話 濱 寺 2 6 9 番



島津分光分析装置

詳細型録送呈

島津製作所

京都・大阪・東京・福岡・新京・大連 奉天・北京・京城・臺北・名古屋・神戸

會 告

最近の諸情勢特に用紙不足及び印刷遅延に依り、並びに日本出版會の要請もあり本誌刊行に關し次の如く變更しますから御諒承下さい。

1. 本誌第5輯を第5,6輯(合併號)とします。即ち第18卷は第1輯, 第2輯, 第3,4輯及び本第5輯の4冊となります。
2. 我が國に於ける物理化學研究の抄録(歐文)に就て、
 - (イ)第18卷の最後に掲載豫定の分は印刷の都合上遅延しましたので別冊(本第5輯附録)として後より別送します。
 - (ロ)上記の分を以て中止します。
3. 第18卷の總目次は上記の別冊に附します。従つて製本は次回別冊送附後にされたい。
4. 合併號刊行より生ずる用紙の餘裕は次卷(第19卷第1輯)以降分に當て内容充實に努めることにします。

昭和19年12月

「物理化学の進歩」編輯